

平成17年度

第3期

少年町長・議員活動 報告書

平成17年度
遊佐町少年町長・少年議会解散パーティー



平成18年3月 山形県遊佐町

目次



米〜ちゃん
遊佐町イメージキャラクター

少年町長・町長挨拶	2
遊佐町少年町長・活動経過報告	3
遊佐町少年町長・少年議員公選事業実施要項	4
選挙チラシ	7
投票用紙	8
選挙公報	9
開票風景	11
開票図面・開票結果	12
有権者(中高生)の提案と政策(抜粋)	13
政策提言1 第2回少年議会より	16
政策提言2 第3回少年議会より	22
政策予算により実施したもの	28
少年議会の政策提言により、町が実現したもの	30
新聞記事等	31
遊佐町少年町長・少年議員公選事業プロジェクト名簿 おわりにかえて	34



少年町長・町長挨拶

少年町長

遠田 美由紀



7月から12月までの約半年間、今振り返ると休む暇もなくさまざまな活動をしてきたように思います。有権者の皆さんから私達が何を求められているか少年議会の仲間と話し合っって事前の綿密な計画を行い、本当に多くの人々の協力により活動してきました。その中で私が強く感じたことは、私ひとりの力で生きているのではなく、たくさんの人達のおかげで今の自分がいるのだということです。私達を支えてくれるたくさんの人達、今回少年議会の活動に協力していただいた人だけでなく、家族や友達など、私と関わってくれた全ての人達にも心から感謝をしたいと思います。

また、活動をしていくと、もう何年も住んできた遊佐町なのに、新しい発見がいくつもありました。ただそこにあるだけと思っていた自然ですが、改めてその自然に触れ、こんなに素晴らしい財産が遊佐町にあるのかと感動しました。私はずっと遊佐町に対して、古い町、何も無い

町というイメージを持っていましたが、それは間違いでした。遊佐町には私達の知らないものがまだまだいっぱいあると思うし、また遊佐町には優しい人がたくさんいます。私は遊佐町が大好きだし、どこの市町村にも決して引けをとらない町だと思っています。

私はこの少年議会の活動で、普通の高校生が体験できないような素晴らしい体験をし、多くのことを学ぶことができました。物事の考え方や他の人を理解することの大切さ、また、自分に任せられた仕事を成功させた達成感や満足感、時には責任感なども感じ、半年という短い間にひと回り自分が成長したように思えます。そして、ここで学んだ事、感じた事を忘れずにこれからの私の学校生活、これからの人生に役立てていきたいと思っています。

最後に、私個人では2期の時から2年間少年議会で活動してきましたが本当に楽しい2年間でした。どうもありがとうございました。

遊佐町長

小野寺 喜一郎



第3期少年町長の遠田美由紀さん、少年助役の池田加奈さん、そして6人の少年議員のみなさん、約半年間の活動大変ご苦勞様でした。また、ありがとうございました。

この遊佐町少年町長・少年議員公選事業は、若者達がもう一度自分達の住む地域に目を向け、まちづくりの担い手として、あらゆる場で活動して欲しいという願いをこめて実施してきました。

第3期のみなさんからも、若者の視点から遊佐町を捉えたたくさんの方の政策提言をいただきました。今回の事業で実現したのものもありますが、残された課題につきましても、引き続き真摯に受け止めその実現のために、全力をあげて行きたいと考えております。

いつの時代でも、若者達が自分達の未来を創造するために集い、語り学びあうことこそ、遊佐町の未来へ向けたまちづくりにとって特に重要なことです。これからも、行政として、そして共に遊佐町に暮らし一緒になって遊佐町の将来を考える仲間として、自らの生活課題や、地域課題を解決していく努力への熱意に支援を惜しまず、次代を担うのはもちろん、現代だって担っている若者達の活躍を見守っていきたくと考えております。

第3期の少年町長・少年議員の活動の成果や想いが、続く第4期のみなさんにつながるように願いながらお礼といたします。

遊佐町少年町長・少年議会活動経過報告

概要	期日	場所等	備考
少年町長・少年議員の候補者募集		広報ゆざ6月1日号	HP開設
遊佐中学校・各高校生徒への説明会	6月6日(月)～17日(金)	各学校	各プロジェクト委員が担当学校に出向き、説明を行う。
立候補者受付期間(告示)	6月20日(月)～6月24日(金)	遊佐町少年町長・少年議員 公選事業事務局	立候補者募集開始 定数少年町長1少年議員10名立候補の負担を一纏に提出する。
立候補者告示	6月24日(金)		
選挙広報・投票用紙送付(管外高等学校)	7月1日(金)	管外高等学校	
選挙広報送付(管内高等学校・遊佐中学校)	7月1日(金)	管内高等学校・遊佐中学校	投票用紙は別途
少年町長選挙投票日	7月4日(月)～7月10日(日)	遊佐町中央公民館・町立図書館・遊佐駅・吹浦駅・各学校	各高等学校で投票日を設定し投票所を開設する。 投票所に投票用紙を持参し投票管理を行う。(担当職員)
開票	7月10日(日)	町役場議事所	
平成17年度遊佐町少年町長・少年議員当選証書等交付式	7月10日(日)	町役場議事所	当選証書・議員バッジ交付
第1回少年議会	7月10日(日)	町役場議事所	負担の発表・第2期町長、議員との話し合い
第1回少年議会全員協議会	7月14日(木)	委員会室	今後の活動方法とスケジュールについて・政策課題カード作成
第2回少年議会全員協議会	7月23日(土)	町役場議事所・町内各施設等	町巡り・政策課題現場調査
第3回少年議会全員協議会	7月28日(木)	町役場102会議室	有権者の意見集約ワークショップ・政策提言作成(1)
第4回少年議会全員協議会	8月9日(火)	町役場202会議室	政策提言作成(2)・町民盆踊り大会への対応について
第36回町民盆踊り大会への参加	8月14日(日)	第36回町民盆踊り大会会場	遊佐高等学校生徒と共に踊り、スタッフとしても参加
第2回少年議会	8月20日(土)	町役場議事所	町当局への政策提言
第5回少年議会全員協議会	8月29日(月)	町役場202会議室	政策予算50万円使用方法についての話し合い(1)・島海ツーデーマーチへの対応について
第13回島海ツーデーマーチエール 斎藤弘山形県知事との懇談会	9月3日(土)～4日(日) 9月3日(土)	遊佐町町民体育館前広場 遊佐町町民体育館前広場	全国からのお客さんに出発のエールを送る。 少年議会活動について、山形県の現状についての話し合い
衆議院議員選挙啓発活動	9月4日(日)	遊佐町町民体育館前広場	明るい選挙推進協会と共に啓発用ディスプレイ
第6回少年議会全員協議会	9月4日(日)	町役場102会議室	政策予算50万円使用方法についての話し合い(2)
第7回少年議会全員協議会	9月18日(日)	町役場102会議室	政策予算50万円使用方法についての話し合い(3)
第8回少年議会全員協議会	9月24日(土)	町役場102会議室	政策予算50万円使用方法についての話し合い(4)
第9回少年議会全員協議会	9月28日(水)	町役場202会議室	街灯設置希望場所現地視察・政策提言中長期課題についての話し合い(1)
第10回少年議会全員協議会	10月3日(月)	町役場102会議室	政策提言中長期課題についての話し合い(2)・ふるさとCM企画作成
神鹿角切祭	10月10日(月)	大平山荘	角切りイベント・ボランティア
バス停ベンチ作成	10月10日(月)	遊佐町町民体育館駐車場	政策提言のひとつとしてベンチ塗装と「米～ちゃん」ペイントの実施
バスケットボールフリースローライン塗装	10月10日(月)	農業者トレーニングセンター前バスケットボールコート	政策提言のひとつとしてライン計測、ペンキ塗装。
ふるさとCM撮影	10月21日(金)～22日(土)	高瀬映・十六羅漢	政策提言のひとつとしてCYTSふるさとCM大賞出品用CMを企画、出演。
特別養護老人ホーム「ゆうすい」桜植樹	11月5日(土)	特別養護老人ホーム「ゆうすい」	新たに桜4本を植樹。
少年議会主催イベント「YuzaTownParty2005～遊佐Rock3rd～」準備	11月12日(土)	遊佐町中央公民館ホール	会場準備
少年議会主催イベント「YuzaTownParty2005～遊佐Rock3rd～」開催	11月13日(日)	遊佐町中央公民館ホール	政策提言のひとつとして音楽・ダンスイベントを企画、運営
少年議会だより「Ourinformation～少年議会～」第1号発行	11月15日(火)		政策提言のひとつとして作成、お知らせ号と共に配布。
第11回少年議会全員協議会	11月28日(月)	町役場102会議室	任期終了までの活動内容と日程についての話し合い
少年議会だより「Ourinformation～少年議会～」第2号発行	12月15日(木)		政策提言のひとつとして作成、お知らせ号と共に配布。
第12回少年議会全員協議会	12月15日(木)	町役場議事所・102会議室	最終議会での各議員提言内容についての意見交換・今後のスケジュール確認
バス停用ベンチ及び雨よけ設置セレモニー	12月27日(火)	役場前バス停	少年議会が自分達の手で作成したベンチ及び少年議会予算で作成した雨よけの設置。
第3回少年議会	12月27日(火)	町役場議事所	今期活動報告と町当局への政策提言2回目
第3期少年議会解散パーティー	12月27日(火)	遊佐町中央公民館会議室	関係者とともに今期活動を振り返る。

平成17年度 遊佐町少年町長・少年議員公選事業実施要項

1. 名称 遊佐町少年町長・少年議員公選事業

2. タイトル 「若者の力で、遊佐の未来をつくろう」

常に、歴史は若者によって創られてきた。地域の青年たちは、いつでも地域を変革していく「力」を蓄えている。青年たちが自分たちのすむまちを自分たちの協働の「力」で変革しはじめるとき、時代が拓かれ地域の民主主義が再生する。そして、地域の中で若者たちが、生活者として認識され、若者たちの居場所と、出番が地域の中に見えてくる。そのことを通じて、若者が生き生きと生活していく自立した地域が再生されてくる。

3. スローガン

自分たちの力で、自分たちが本当に求める遊佐のまちをつくろう。

遊佐町は、私たちが生まれ育った町です。鳥海山、月光川、庄内砂丘と日本海に抱かれ、豊かな自然や歴史風土あふれる町です。

21世紀をむかえ、私たちの前には地球規模での環境の悪化、エネルギー、食糧、人口問題、さらに、民族問題、経済格差などの新たな問題や課題が横たわっています。

改めて、これまでの社会、経済そして私たちの「生き方」「あり方」「生活の仕方」そのもの大転換が迫られています。

そして、さらに私たちを取り巻く仕組みの大きな変化として「分権社会」が到来し、自分たちの生き方を自分たちが決めていくという社会システムを構築していくことが求められています。こうした状況をふまえて、若者たちの意見や願いをもとに若者の力で遊佐町の地域づくりを行おうとするものです。

4. 事業のねらい

- (1)若者たちが、自らの代表を直接選び、政策を実現していくことで、学校外で民主主義を実際に体験・学習することにより社会の構成システムを学ぶ。
- (2)中高生等の未来を担う若者の視点から、町政への提言や意見を町が積極的に採り上げることを通じて、若者の町政参加を促す。
- (3)この事業に関わるすべての関係者が、若者の町政に対する意見に学び、併せて若者たちが、社会システムや民主主義を相互に学ぶ場としたい。(相互教育)

5. 少年町長・少年議会の構成対象者

遊佐町在住の中高校生及び遊佐高等学校生徒
構成者はだれでも、少年町長及び少年議員の選挙権と被選挙権をもつ。
また、少年議会では、自らの政策立案と少年町長の議案審議権を有する。

6. 構成員

- (1)少年町長 (1名) 構成対象者のうち少年町長に立候補し、全構成員の投票により信任された者
- (2)少年議員 (10名) 構成対象者のうち少年議員に立候補し、全構成員の投票により信任された者
- (3)少年助役 少年町長・少年議員に立候補し、当選できなかった者のうちから、少年助役(若干名)を委嘱できるものとする。委嘱された少年助役は、少年議会の構成員となる。

7. 少年町長

少年町長は、遊佐町少年町長・少年議員公選事業にかかる全ての構成者の代表であり少年議会で承認された政策の実現のため遊佐町長に対して、予算要求を行う権限をもつ。

また、遊佐町長より交付された政策予算の予算執行権をもつ。

8. 少年議会

少年議会は、少年町長が招集し議案を提案し承認を得る。少年議会は、最初の議会に議長及び議長代理を選任するとともに、少年町長の議案審議を行う。

併せて、自ら少年政策立案を少年議会の場で行うことができる。

9. 少年助役

少年町長を補佐し、少年町長不在の場合、臨時的に政策実現における執行権限をもつ。

10. 事業期間 平成17年5月～12月(第3期)

11. 事業スケジュール(概案)

- 平成17年5月 第3期プロジェクトチームの立ち上げ(遊佐町役場内)
- 平成17年5月 各高校への協力お願いと生徒への主旨説明
- 平成17年5月 立候補者対策
- 平成17年6月 少年町長及び少年議会議員立候補者受付・立候補者チラシ作成
- 平成17年7月 全構成員による直接選挙
- 平成17年7月 当選証書の交付及び事業説明
- 平成17年7月 第1回少年議会
- 平成17年7月～8月 政策討議
- 平成17年8月 第2回少年議会
- 平成17年8月 遊佐町長への予算要求
- 平成17年9月～ 予算執行(事業の実施)
- 平成17年12月 末日、任期満了

12. 留意点

(1)町外に通学する高校生等への周知方法

- 専用HPを開設する。-遊佐町公式HPへ
- 各高校長あて協力依頼文書を発送する。
- 遊佐中学校及び各高等学校へ向向き、学校側に趣旨を説明するとともに、当該生徒を集めて説明会を開催し投票への協力を依頼する。(プロジェクトで分担)
- 対象者用チラシ、ポスターを作成する。

(2)町民への周知方法

- 専用HPの他、広報を活用する。

(3)選挙管理の方法(投票事務)

- 遊佐中学校生徒
 - 遊佐高等学校生徒
 - 酒田市内高等学校生徒
- 各学校毎に投票期間中1日を投票日に設定し、担当プロジェクトが出向き行う。
(当日欠席者は酒田市外高等学校生徒と同様の方法)
- 投票管理は、投票用紙を配布し有権者の意見を記載して候補者の投票を行う。

- 酒田市外高等学校生徒 立候補者告示にあわせて、選挙広報及び投票用紙を各高校に送付し、対象者に配布していただくよう依頼する。投票は、遊佐駅、吹浦駅、遊佐町中央公民館、遊佐町立図書館に設置された投票箱にて行う。

- 開票等 第2期少年町長・少年議員、プロジェクト担当町職員が担当した。

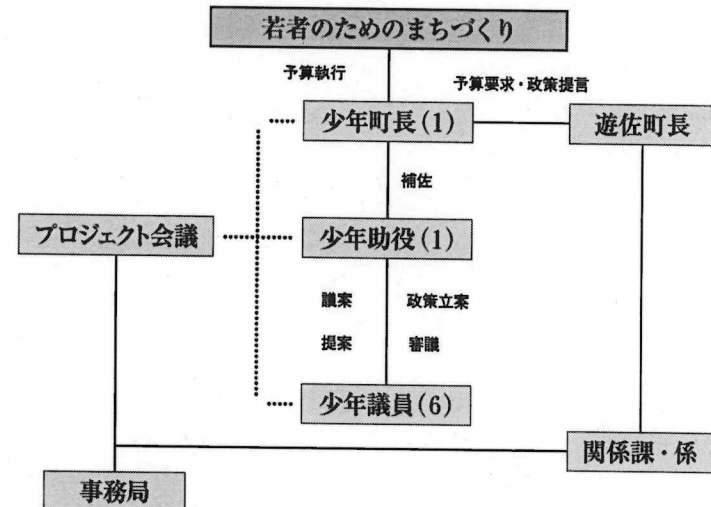
●各対象校説明日・投票日内容

対象校	対象	学校訪問日	生徒説明日	参加人数	投票日	投票人数
酒田東高校	67	6月2日	6月14日	33	7月6日 午後0時45分～	48
酒田西高校	64	5月30日	6月10日	39	7月7日 午後1時～	42
酒田北高校	26	6月2日	6月2日	22	7月7日 午後0時40分～	21
酒田商業高校	68	5月31日	6月17日	42	7月8日 午後0時50分～	33
酒田工業高校	98	5月31日	6月8日	50	7月7日 午後0時40分～	20
酒田中央高校	104	6月1日	6月1日	104	7月6日 午後0時40分～	95
酒田南高校	42	6月1日	6月13日	30	7月6日 午後0時50分～	20
天真学園高校	3	6月1日	6月1日	3	7月6日 午後3時40分～	3
遊佐高校	121	5月31日	6月14日	121	7月7日 午後1時55分～	114
遊佐中学校	519	5月31日	6月10日(8時15分より生徒集合)	519	7月7日 午後3時～	512
県立鶴岡養護学校 島海学園分教室	8	なし	(電話にて担当職員に説明)		7月5日 午後2時30分～	5

(4)予算

- 政策予算 全期間を通じて500,000円とする。但し、町への提言に伴う予算は、所轄課で予算化する。

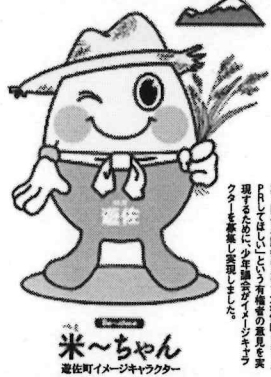
遊佐町少年町長・少年議員公選事業構造図



Youth President's Election 2005 in YUZA

選ぼう 討議しよう 実現しよう

明日の遊佐町に
ほくたちはわたしたちは
提案します



第3回少年町長選挙において「遊佐町米をモチーフにして」という有権者の意見を反映する「米〜ちゃん」少年町長イメージキャラクターを募集しました。

1 第3回少年町長と第3期少年議員の立候補者を募集します。

遊佐町では、中学生、高校生（遊佐町在住・在学）の中から「少年町長」と「少年議員」を選挙で選り少年議会を開催します。この人々は、全有権者（遊佐町に住む中学生、高校生と遊佐町に進学する高校生）の直接選挙で選ばれます。

立候補者受付期間 平成17年6月20日(月)～24日(金)

立候補用紙による届け出にて受け付けします。積極的な立候補をお願いします。

公選で選ぶ人 (1)少年町長 1人 (2)少年議員10人

2 中学生、高校生が遊佐のまちづくりについて議論します。

少年町長と少年議員は、遊佐町の若者の代表として、遊佐町に様々な意見を届けるとともに、自分たちで「中学生、高校生の政策」を議論し決めていきます。

議会の開会

- (1) 中学生、高校生の意見を政策にするために、議会を開会します。少年町長は議会に自分の政策を提案します。
- (2) 少年議員は、少年町長の提案を審議し、自分の意見を発言します。

3 町では、中学生、高校生の政策を尊重し、その実現を図ります。

遊佐町では「中学生、高校生の政策」を尊重しその実現を図ります。少年町長と少年議員は、自分たちの決めた政策を実現します。

少年町長・少年議員立候補届

少年町長・少年議員に立候補します。(○をつける)

氏名	
住所	
TEL ()	
学校名	学年

以上のとおり立候補します

立候補の投票

問い合わせ・連絡先

遊佐町少年町長・議員公選事業事務局
遊佐町役場総務企画課企画係(担当 東海林和夫・土門良則・本間裕行)
〒999-8301 遊佐町大字遊佐町舞鶴211 TEL.0234-72-3311
(e-mail) kikaku@town.yuza.yamagata.jp

届け出は ▶ FAX.0234-72-3310

遊佐町少年町長・少年議員投票用紙

1 遊佐町少年町長立候補者(定数一名)

あなたが、少年町長としてふさわしいと思う人に一人だけ○をつけてください。

※一人以上に○をつけたり×などを記入すると無効票となりますので、注意してください。

○をつける欄	候補者氏名	性別	地区	所属
池田 加奈	遠田 美由紀	女	西遊佐	県立酒田西高等学校1年
		女	吹浦	県立遊佐高等学校2年

2 遊佐町少年議員立候補者(定数十名)

定数が、十名に対して立候補者が六名でしたので、左記の六名が当選と決定しました。従って投票はありません。

当選	当選	当選	当選	当選	当選	候補者氏名	性別	地区	所属
島中 啓太	高橋 美咲	山本 歩	佐藤 翔大	小野寺 梓	佐藤 里沙	佐藤 里沙	女	遊佐	市立酒田中央高等学校1年
男	女	女	男	女	女	佐藤 翔大	男	遊佐	県立遊佐高等学校1年
吹浦	福川	吹浦	遊佐	藤岡	藤岡	藤岡	女	藤岡	県立酒田西高等学校1年
						吹浦	男	吹浦	県立遊佐高等学校2年

1 あなたは、これからの遊佐町がどんな町になってほしいとねがっていますか。自由に記入ください。

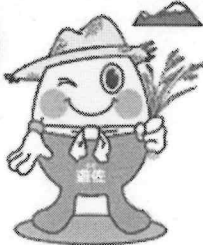
2 あなたは、少年町長・少年議員にどんなことを実現してもらいたいとおもいますか。自由に記入ください。

「意見ありがとこございました。」
遊佐町少年町長公選投票のお知らせ
○投票日 七月四日(土)午後一時まで
○投票場所 遊佐町中央公民館・遊佐町立図書館・遊佐駅・吹浦駅
その他、各高等学校や中学校でも投票できます。学校によっては投票所を設置していない高校もありますので、その場合は、前記の場所で忘れずに投票してください。

Youth President's Election 2005 in YUZA

選挙公報

明日の
遊佐町に
ぼくたちは
わたしたちは
提案します



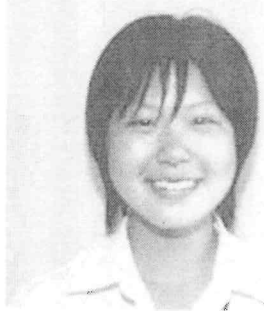
米〜ちゃん
遊佐町イメージキャラクター

立候補者はどんな人、どんな夢をもっている人かを参考にして選んで下さい。

遊佐町少年町長公選投票のお知らせ

- 投票日 7月4日(月)～10日(日)【午後2時まで】
- 投票場所 遊佐町中央公民館・遊佐町立図書館・遊佐駅・吹浦駅
その他、各高等学校や中学校でも投票できます。学校によっては投票所を設置していない高校もありますので、その場合は、上記の場所ですべてに投票してください。

遊佐町少年町長立候補者

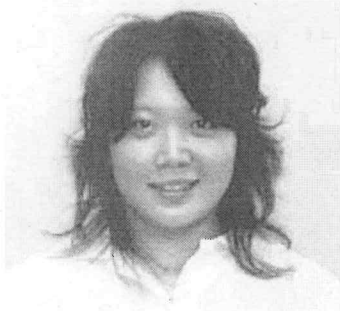


県立酒田西高等学校1年 (地区●西遊佐)

えんた みゆき

遠田 美由紀

昨年やったことを生かして、今年ももっと町民の声を町に反映させていきたいです!!



県立遊佐高等学校2年 (地区●吹浦)

いけだ かな

池田 加奈

前少年町長・赤塚緑さんから、この1年間の活動について話を聞き、私も遊佐の町づくりに少年町長として参加し、今まで以上にこの遊佐町を更に住み良く、遊佐町に住むみなさんが気軽に行事に参加できるような町をつくっていききたいです。

※少年議員立候補者は裏面をご覧ください。

遊佐町少年議員立候補者・当選者

市立酒田中央高等学校1年 (地区●遊佐)

さとう りさ

佐藤 里沙



前回やって学んだこと失敗したことをばねにして、今回も精いっぱい頑張りたいと思います。中学生・高校生の意見を一つでも多く実現したいです。

県立酒田西高等学校1年 (地区●麻岡)

おのであ あずさ

小野寺 梓



1・2期の少年議員の人の話を聞き、楽しそうだと思います。この楽しさが町中に広がればいいと思います。

県立遊佐高等学校1年 (地区●遊佐)

さとう しょうだい

佐藤 翔大



私は昨年度おこなった議会だよりを今年もおこない昨年よりも少年町長・少年議員をたくさんの人に知ってもらえるようにと思い立候補しました。よろしくおねがいします。

町立遊佐中学校3年 (地区●吹浦)

やまもと あゆみ

山本 歩



遊佐町を今よりも美しく安全な町にできるように精一杯できるかぎりのことをやりたいと思います。

町立遊佐中学校3年 (地区●福川)

たかはし みさき

高橋 美咲



私は遊佐町を花でいっぱいでもるい町に、若い人が遊佐町について関心をもってくれるような町にしていけたらいいなと思います。頑張りますのでよろしくお願ひします。

県立遊佐高等学校2年 (地区●吹浦)

はたなか けいた

畠中 啓太



こういうことは初めてですごく緊張しているけど、もし当選したらみんなのために一生懸命活動に取り組んでいきたいです。

※少年町長立候補者は裏面をご覧ください。

開票風景



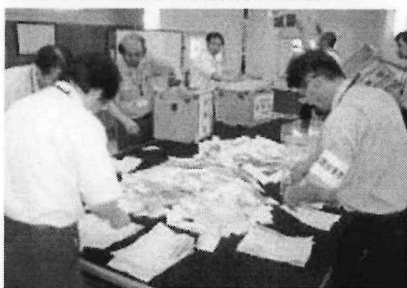
●選挙長は第2期少年町長 赤塚 緑さん



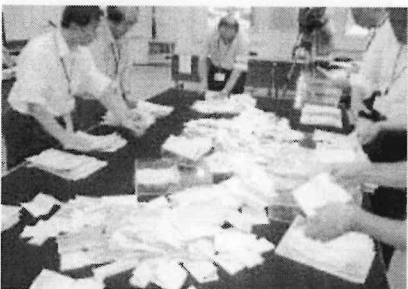
●選挙立会人は第2期少年監査委員 小田原 茜さん



●いよいよ開票開始



●プロジェクト担当職員による開票作業



●開票がすすむ



●開票結果を待つ立候補者達

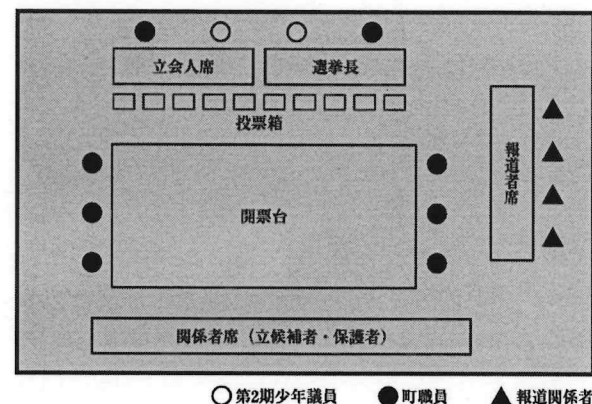


●立候補者達が最終集計を見守る

立候補者名	得票数	得票率
遠田美由紀	551	61.9%
池田加奈	348	38.1%
有効得票数	899	
無効得票数	20	
投票者総数	919	
当日有権者数	1,171人	
投票率	78.5%	

●開票終了 新町長が決定

開票図面／開票結果



第3期遊佐町少年町長選挙開票結果

届出受理番号	氏名	得票数	当選順位	性別	所属名	学年	地区	役職
1	遠田美由紀	551票	当選	女	県立酒田西高等学校	1	西遊佐	少年町長
2	池田加奈	348票	次点	女	県立遊佐高等学校	2	吹浦	少年助役
有効得票数		899票		無効得票数		20票		
投票者総数		919票		開票率		100%		
当日有権者数		1,171人		投票率		78.47%		

第3期遊佐町少年議員選挙結果

※平成17年度少年議員選挙については、候補者数が定員10名に満たなかったため、全員当選となりました。

届出受理番号	氏名	当選順位	性別	所属名	学年	地区	役職
3	佐藤翔大	当選	男	県立遊佐高等学校	1	遊佐	少年議会議長
1	佐藤里沙	当選	女	市立酒田中央高等学校	1	遊佐	少年議会副議長
2	小野寺梓	当選	女	県立酒田西高等学校	1	藤岡	少年議員
4	山本歩	当選	女	町立遊佐中学校	3	吹浦	少年議員
5	高橋美咲	当選	女	町立遊佐中学校	3	稲川	少年議員
6	畠中啓太	当選	男	県立遊佐高等学校	2	吹浦	少年議員

有権者(中学生)の提案と政策(抜粋)

投票用紙にまちづくりのための中学生の意見を自由に記入していただきました。その一部を掲載します。

少年町長・少年議員への要望

- できることから実現させてほしい。
- 態度を良くしてほしい。
- やるからにはきちんとしてほしい。
- 昨年と同じく、積極的な活動をしてほしいです。
- みんなの役に立つことを中心に何か実現できれば実現してほしい。
- みんなの目に見えるようなことをしてほしい。
- 自分が言った公約の実現をしっかりとしてほしい。
- 私達の意見を政策に反映してほしい。
- 少年町長、議員になったからにはきちんと仕事をしてください!!頑張ってください。
- もっと目立ってほしいと思う。(何をしているのかよくわからない)
- いろいろな行事をしてほしい。
- 遊佐がよりよくなるように頑張ってください。
- 自分ができるところをしっかりと頑張ってください。
- 私達の意見を1つでもいいから実行してほしい。
- 去年実現できなかったことをしてほしい。もっと意見を取り入れてほしい。
- 遊佐町のためにおおいに役立ってほしいです。
- 初めて行うことも議員みんなで協力して頑張ってください。
- 自分達でできることを一生懸命やってほしい。
- 希望をかなえてほしい。若者を引っ張ってほしい。
- 住民は何を求めているかを考えてもらい、それを実現してほしい
- みんなが興味をもてるような活動をしてほしいです。
- 協力するのががんばって!
- 若者も行政に関心をもてるような活動を期待しています。
- もっとたくさん企画してみんなが参加できるようなことをしてほしい。
- いろいろなことを企画して遊佐町を盛り上げてほしい。
- 私達の意見を町に届けてほしい。
- 応援してます。意見をどんどんだして、遊佐町を明るくしてください。
- 若者のリーダーになってほしい。
- 自分達で遊佐町に何が足りないか考え、それを補ってほしい。
- 遊佐町のことをもっと詳しく私達に教えてほしい。
- 忙しいと思うけど、立候補したのだからがんばってほしい。
- 言うことははっきり言ってほしい。
- 遊佐町の魅力をもっとPRしてほしい。
- 積極的に私達の意見を聞いてほしい。交流がないような気がします。
- 中学生の代表としてがんばってほしい。
- 若者にしかできないことをしてほしい。
- いろいろ参加させてください。
- 学生だからできることをどんどんやってほしい。
- 老人、若者、男、女、みんなが理解できる活動をしてほしい。また、それを知らせてほしい。

安全で平和な遊佐町にしたい

- 事故のない安全な町にしたい。
- 道が暗くて危ないので街灯をつけてほしい。
- 学校から帰るとき暗くて不安な道が多い。街灯をつけてほしい。
- 事件・事故がない町にしたい。
- 安全にのびのび暮らせる町にしたい。
- 菅野のスワンパーク前にガードレールをつけてほしい。
- 北目、富丘地区に街灯を増やしてほしい。
- 中学校から杉沢までの道が暗くて危ないので、街灯を増やしてほしい。とにかく明るくしてほしい。
- イジメのない、安心して暮らせる町にしたい。
- 冬の時期の歩道を何とかしてほしい。
- 歩道に雪がたまらないようにしてほしい。

- 歩行者にやさしい町にしたい。
- みんなが交通安全を考える町にしたい。
- 老人や車椅子の方にも優しい道路にしたい。
- カーブミラーが足りない。
- 交差点など危ない場所があるので、カーブミラーをつけてほしい。
- 「平和」が生活の基本だと思うので、町民みんながしっかり考えるようにしてほしい。
- 今のままで、差別や暴力のない町であってほしい。
- 人にも動物にもやさしい、住みやすい町にしたい。

福祉の充実した遊佐町にしたい

- 子供からお年寄りまで笑ってすごせる町にしたい。
- ボランティア活動が盛んな町にしたい。
- ボランティアをしたいが、どうすればいいのかわからない。少年議会で考えてほしい。
- 町民だれにでも優しい町にしてください。
- 福祉についてもっと知りたい。教えてくれるところをつくってほしい。
- 公民館などをバリアフリーにしてほしい。
- 募金やボランティアを活発にしてほしい。
- 老人ホームをもっと充実させてほしい。
- 少子化対策をしっかりとしてほしい。
- 高齢化や少子化など、将来のことを考えると不安。対策をしっかりとしてほしい。
- 道路や施設のバリアフリーを徹底してほしい。
- 障害者にも優しい町にしたい。

自然があふれきれいな遊佐町にしたい

- 自然があふれた町にしたい。
- 道にゴミが落ちていない町にしたい。
- タバコのマナーをしっかりと守る町にしたい。
- ポイ捨てをなくしてほしい。
- 島海山を今のままきれいに残してほしい。
- これからも、今のままの風景を残せるように努力してほしい。
- 山も川も海もある自然豊かな遊佐町をこれからも維持してほしい。
- 人と自然が共存できる町であってほしい。
- 一人一人がマナーを守れるよう、広報などに力を入れてもらいたい。
- 海水浴場をもっときれいにしてほしい。
- 町中が花で明るくなるように、植樹をしてほしい。
- 海岸清掃ボランティア活動をしてほしい。私も参加します!
- 緑が豊かだったら、そこに住む人の心も豊かになる。緑をなくさないでください。
- 松くい虫被害が多すぎる。なんとかしてほしい。
- 遊佐町の自然をPRしてください。でも、来た人が自然を壊さないようにちゃんとしてください。
- 自然は遊佐町の宝なので、大事にしてほしい。

活気があって人がたくさん集まる遊佐町にしたい

- 外から来た人達が来て良かったと思える町にしたい。
- 今の遊佐町を保ち、さびれたりすることがないようにしてほしい。
- スポーツが強い町にしたい。
- CMをもっといいものにして、遊佐町をアピールしてほしい。
- 人が出て行かない町、魅力ある町にしたい。
- 少年議会のよう遊佐の青少年が遊佐の政治に参加して、若い世代の意見を取り入れるようにすれば、もっと活発になると思います。
- ツアーマーチをもっと全国的にPRしたらどうか。
- 子供の増える町に絶対してほしい。
- 投票率をあげて、もっと町に活気をつけてください。
- 財政が安定した町になってほしい。
- みんな仲良し、みんな平等のまちづくりをしてほしい。
- 楽しくて自慢できる町にしたい。
- 昔ながらの文化を大切にしたい。
- 遊佐町をもっと有名にしたい。自慢できる町にしたい。
- 観光客など都会の人も訪れる町にしたい。

- 遊佐ロックなど、若者が参加できるイベントをもっと増やせば賑やかな町になると思う。
- みんなが参加しやすいイベントを行ってほしい。
- いろんな人と交流できる場をつくってほしい。
- 遊佐町にはいいものがたくさんあるのにアピールできていないと思う。それに、町民も遊佐町についてあまり知らないのではないかな。もっと知る機会を増やしたらどうか。
- 海も山もあって住みやすい町なのにアピールが足りない。もっと人が来てくれるよう工夫したほうがいいと思う。
- 若者が遊びに来てくれる町。もっと派手で賑やかな町。
- 5時を知らせる曲をもっとPOPにする。(オリジナルソングでも可)

施設が充実した遊佐町にしたい

- 100円バスを作ってほしい。バスの料金が安い。
- るるんバスみたいなバスがほしい。
- 朝の通学時の電車の車両を増やしてほしい。
- 遊佐中の都会化。でも自然はくささないで。
- 遊佐町の文化や伝統を残しつつ都会的なものもある町にしてほしい。
- 自由で楽しいスポットがある町にしてほしいと思う。
- もっと明るくてラスベガスみたいな町? になってほしい。
- 買い物できて、遊ぶ場所もあるショッピングモールを作ってほしい。
- お店を増やしてほしい。買い物ができない。街中がさみしい。
- コンビニを増やしてほしい。
- 街中に町民が集える大きな公園をつくってほしい。
- もっともって都会のように発展させてほしい。
- スポーツができる施設を増やしてほしい。
- 駅をきれいにしてほしい。新しくつくってほしい。
- スケートボードパークを作ってほしい。ナイター設備もつけて!
- わざわざ酒田に行かなくてもいいようにプールをつくってほしい。
- 中学校にプールをつくってほしい。
- 若者のニーズを調べてそれにあった施設をつくってほしい。若者があつまると思う。

あいさつあふれる明るい遊佐町にしたい

- みんながあいさつをして、笑顔あふれる町にしたい。
- 人と人とがふれあい、温かい町にほしい。
- あいさつの絶えない町。
- 大人から子供まで互いに声をかけあう優しい町にほしい。
- あいさつ運動を活性化してほしい。特に子供より大人のほうが声をかけないように思う。
- いろんな年代の人が交流し、互いに満足して生活できる町。
- 誰とでもあいさつしあう明るい町にほしい。
- 声をかけあうようにすれば、悪い人がいなくなる。
- 外から来た人が、「遊佐町の人は心があったかい」といつても度々来てくれるよう声をかけあえる町。
- 心の豊かさを町民ひとりひとりが感じられる町。
- 誰にでもオープンな町にしたい。

国際交流をさかんにしてほしい

- 当たり前外国人が歩いている国際的な町にほしい。
- 外国と交流を深め活発な町にほしい。
- 町民が海外にも目を向け、国際的な感覚をもてる町にしたい。海外への募金活動もしたい。

市町村合併について一言

- 酒田市とか庄内町とか会議などしても意見力があり、遊佐町として目立ってる町にほしい。
- 合併しないでほしい。遊佐という名前を残したい。
- 合併したら遊佐町らしさがなくなるのではないかな。町からきめ細かい対応をしてほしいので合併しないでほしい。
- 合併しないとどうなるか不安。やっていけるのだろうか。
- 財政的に厳しいので、合併してはどうか。

少年議会 政策 提言

【有権者が望む政策・私の政策】

平成17年8月20日(土)
第2回少年議会

少年町長

遠田 美由紀



少年町長の遠田美由紀です。

私は有権者の「平和な町・住みやすい町にしてほしい」という意見と、「合併について」という意見をまとめました。

まず、「平和な町・住みやすい町にほしい」という意見についてですが、この様な意見の票は、141票ありました。いずれも、抽象的な意見ばかりだったのですが、中でも具体的に書いてあったのは、「道が暗くて危ないので街灯をつけてほしい」という意見で7票ありました。

遊佐町は事件・事故が少なく、安全な様ですが、町全体を見ると、まだ暗い道が多くて、学校から帰る時に不安を感じる人も多いと思います。なので、町民にアンケートをとり、暗くて危険だという意見が多かった道に、町の予算で街灯を設置してほしいです。

道が明るいと安心でき、また事故の防止にもなるので、有権者の「平和な町・住みやすい町にほしい」という意見の実現につながると思います。

次に「合併について」ですが、合併に反対だという意見は4票ありました。また、合併に賛成だという意見は3票ありました。その他にも、遊佐という名前を残してほしい、合併をしなかったので不安、という意見もありました。

合併反対の理由にあがっているほとんどは、遊佐町らしさを残したい、という様なものでした。私もこの意見に同感です。小さな組織だからこそ、遊佐町らしいきめ細かい対応や、人付き合い、また町民の身になった町政を行えるのだと思います。

合併については賛否両論ありますが、私は前に述べた理由から、合併に反対です。

次に、私が実現したいことは、第1期の時から続いている音楽イベントを今年もやるということです。このイベントは有権者からの評判が良く、「またやってほしい」という話も聞いているので、ぜひ今年もやりたいと思っています。

また、ふるさとCM大賞にも参加したいと思います。CM大賞は、遊佐町をアピールできる絶好のチャンスだと思います。それで、遊佐町の子供達の代表として私達も、CMの制作にたずさわり、また出演もして、遊佐をアピールしたいと思います。今年も、ぜひ参加させてください。

少年助役

池田 加奈



私は少年助役の池田加奈です。

私が政策予算50万円をしたいと思っている事は、昨年もしていたように、町のCM作りをしてみたいと思っています。他の町や市の方からも遊佐町を知ってもらい、行事などにも参加してほしいからです。

2つ目は、毎年行っている「遊佐ロック」に使用できれば良いと思っています。例年より盛り上げるために、お客さんの呼び込みや、会場設営など、まだ詳しい事は決められません。今はそう考えています。

次に、町の施策で実現してもらいたい事は、菅野にある「菅原医院」の通りにある、白鳥が集まる所の車道の所にガードレールがほしいと思います。理由は道自体がせまいので夜道だとよく見えなくて危険だから、小さい子供の歩行や自転車などもガードレールがないと危険だと思うからです。

次に、「遊佐町をあいさつあふれる明るい町にしたい」という分野についてまとめたいと思います。

有権者のみなさんから寄せられた意見の何枚かをもとにしていきたいと思います。

少年町長や少年議員にどんなことを実現してほしいかという質問に対し、1人目の有権者の方は、「明るく、そしてきれいな町にできるように頑張ってください。」という意見でした。2人目の有権者の方は、「みんながあいさつをして、笑顔あふれる町にしていきたい。」という意見でした。最後に、3人目の有権者の方は、「楽しい遊佐町にしていきたい。」という意見でした。この3つの意見をまとめると、あいさつが第一に関わってくると思います。そこで私は少し地域の人や子供たちに聞いてみました。すると大人の人達から意外な声をきくことができました。「小・中・高生みんなは学校でのあいさつ運動などの効果があってあいさつをしてくれる子供たちが増えてきたけど、今じゃ自分達大人があいさつを積極的にしていないと思う。」ということでした。それは私も通学中などに良く思うことです。きっと今の大人と子供には壁ができていないかと思っています。町で行う行事などに参加する人が特定の人だけでほとんどの大人と子供はコミュニケーションがとれてないからだと思います。これから遊佐町で、大人も子供も混ざって楽しめる行事などをしていけたら少しは解決するのではないかと思います。このような場を持つことも大切ですが、もっと大切なのは、遊佐町に住むみなさんの一人一人があいさつを心がけ、あいさつを習慣にすることだと思います。

これが私のあいさつに対する考えです。

少年議会議員

佐藤 翔大



私は少年議長になりました遊佐高1年の佐藤翔大です。昨年私は少年議員として参加させていただき、議会だよりを3回発行しました。この議会だよりを発行する前は小中高生、地域の人達は少年議員をよく知りませんでした。名前は知っているけれど、どんな活動を行っているかはわからないということでした。でも、昨年の議会だよりを発行したおかげで、少年町長・少年議員のことやどんな活動を行っているかなど小中高生、地域の人達もわかってもらえたので、今年も議会だよりを発行し、それらの人達により良く知ってもらいたいと思います。更に県内、県外の人達に少年町長・少年議員のことをもっと知ってもらいたいと思い参加しました。もう1つは自分の知らない遊佐町を見つけて、たくさんの人に遊佐の良いところを教えたいからです。以上が、私が参加した理由です。

次に、有権者からあった意見の中から、私は町のゴミ拾いや清掃について、町に花を植えてほしいということについて意見を述べたいと思います。

まず有権者から意見があった町のゴミ拾いや清掃についてですが私はこの有権者からあった意見を必ず実現したいと思います。その理由としては、遊佐町は自然あふれる町で有名ですが、実際町中を歩くといろんなところにゴミやタバコが落ちています。一番ゴミが落ちてるところがあります。それは西浜海岸です。私が中学校1年生のとき、西遊佐小学校の人達や遊佐高生と一緒に清掃したわけですが、ゴミが非常に多く清掃するのがとても大変でした。そして3年後私が遊佐高生になりました。西浜海岸清掃することになりました。そのときはあまりゴミはありませんでしたが多少ゴミがあらちらに落ちていました。海からくるゴミもありますがゴミを捨てる人もいます。ですから私はこう考えました。西浜海岸に看板を設置し、ゴミを捨てるように注意したいと思います。それでもゴミを捨てるのであれば、西浜海岸を封鎖したい私は考えています。なぜ封鎖をしなければならないかと皆さんは思うと思います。なぜ封鎖をするのかは遊佐町は自然が豊かでとてもいい町なのでゴミがたくさんあるとイメージが崩れて、県外から来るお客様がとても不安な気持ちになりイメージが悪くなるからです。封鎖することで、ゴミを捨てていない人達に迷惑をかけますが、ゴミを捨てたことでこんなことになってしまったという気持ちがわかり、以後ゴミを捨てる人がいなくなり、きれいになると思います。

もう1つ有権者から町に花を植えてほしいという意見がありました。これも実際遊佐町で花を植えている所が少なく、私が見るかぎりでもそう思います。そこで花をもっと植えれば地域の人々も明るくなり、自然にも良いと思います。この有権者からあった意見を実現できるように頑張っていきたいと思います。

よろしく願います。

少年議会副議長

佐藤 里沙



私は、少年議員の佐藤里沙です。

私が今年の政策予算50万円で実現したいことは、バス停にベンチを設置することです。

遊佐町では、多くのお年寄りがバスを利用しています。ですがそのバス停にベンチがないところも見当たりました。例えば、役場の前もそうです。買い物を終えたおばあちゃん達がバスを待つあいだ、ベンチがないため縁石の上に座っていました。

年をとると足や腰が悪くなり低い縁石に座るよりもベンチのほうがいいと思います。それよりも、縁石は人が座るものではないので、遊佐町をよりよくするためにベンチは設置するべきだと思います。

次に有権者の意見です。

私が担当したのは遊佐町の施設についてです。意見の中で一番多かったのは「遊佐町に店を増やしてほしい」という意見でした。

昨年は、第2期少年議会で「商店街の活性化」を目指して、「カフェ・ラ おーたむ」を企画し経営しました。その時も小学生やお年寄りの方はたくさん来てくれました。ですが、少年議会の有権者である中学生・高校生がほとんど来てくれませんでした。「店を増やしてほしい」とだけ言われても、どんな店かなど詳しい意見がないので、私達としてもどんなお店をやった方がいいかわからない部分もありました。ですから、中学生がどんな店を増やしてほしいのか調べてみて、できる範囲のことをしてみたいと思います。

二番目に多かったのは「スポーツができる施設を増やしてほしい」というものでした。

スポーツの内容もさまざまでしたが、「スケボーパーク」や「プール」が主でした。

スケボーパークはトレーニングセンターの近くに少しだけですがやる場所があるみたいです。ですが町民が使えるプールは遊佐にはありません。遊佐中学校の水泳部や遊佐高校の授業などでは、わざわざ酒田のプールまで行って練習しているようなので、町民がみんな使えるプールを遊佐町にもつুক্তらいいと思います。

スポーツ施設を増やしたら、町民の健康のためにもいいですし、交流の場にもつながるのでいい機会になると思います。

今年も遊佐町をもっといい町にするために12月まで一生懸命頑張りたいと思います。

少年議員

畠中 啓太



僕は、今年の政策予算50万円で次の二つのことを実現したいと思います。1つは、ツアーメーカーのCM作りです。なぜ作りたいと思ったかという、毎年参加人数を見てみると、「すごいなー」と思うくらいたくさんの方が参加しているのですが、今以上に多くの人に参加してもらいたいのと、「こんなことをしているのか、素晴らしいな」と感じてもらえたらなと思ったからです。TVCMでこのことを紹介する事で、多くの人に参加してもらうことが実現できると思います。

二つ目は、町民体育館近くのバスケットリングの下に、フリースローなどのラインを付け加えてほしいと思いました。理由は、中学生が結構使用しているのを見て、「ラインがなくて不便そうだな」と思ったからです。「ライン」を引くことにより、とても使用しやすくなり、使う人が増えると思います。

次に町の施策で実現してもらいたいことが2つあります。1つは、街灯をつけてほしいと思います。場所は、北目、富岡地区近くの国道です。理由は、夜、部活が終わってそこを自転車で走っていると、前からくる人に気付かなくて、ぶつかりそうになり、すごく危ないと思ったからです。

2つ目は、ツアーメーカーのすることについてです。去年、学校で先生から、進路方向を示す看板がイタズラされていると言うことを聞いたので、もう少し頑丈にしたほうがいいと思います。

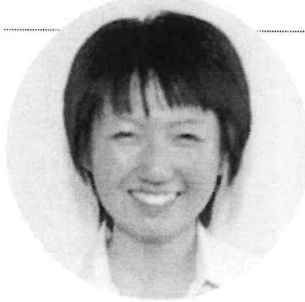
次に、有権者から寄せられた意見の中で、僕は決められた分類に当てはまらない意見を担当しました。その中で3つの意見を紹介します。1つ目は、「町のCMでもっといいものを作ってほしい」という意見です。僕は、去年のTVのCM大賞で遊佐町の作品は、「すごくいい作品だな」と思いました。今年も作るとしたら遊佐の自然、名所を取り入れた、去年以上にすばらしいCMを作ってほしいです。

2つ目は、5時を知らせる曲についてで、現在は童謡が流れていますが、寄せられた意見は、「POPにしてほしい」という意見がありました。ですが、僕は、もっと良いと思ったのは、自分達で遊佐のテーマソングというものを作り、流すということを考えてみました。そのほうがみんな親しみやすいと思ったからです。

最後に、バスの料金についてです。このことについては、4通の意見が寄せられています。「無料バスを運行してほしい」、「100円バスを運行してほしい」、「るんるんバスみたいなバスがほしい」、「料金が高い」という意見内容です。僕は、その意見の中で「100円バス」について、次のように思います。僕は吹浦出身なので、さすがに遊佐駅から女鹿などの区間は100円ではきつと思うので、別に全部が100円と言うのではなく、100円から300円の料金で乗られると言う形にしたら良いと思います。

少年議員

小野寺 梓



私は、少年議員の小野寺梓です。私はまず、遊佐ロックを文化祭のような形にしたいと考えました。

理由は2つあり、1つめは、「ロック」という発表のジャンルにこだわらず、歌や踊りなど、様々なジャンルにすれば、参加者が増えると思うし、見ているのも楽しいと思ったからです。

2つめは、若い人達だけでなく、高齢者の方にも来やすい行事にしたいからです。私には、ロックは若い人達の音楽、というイメージがあり、そのように思っている方もいると思うのです。

この2つの理由から、遊佐ロックを文化祭のような形にしたいと考えました。

次に、私が街灯をつけてほしいと思う所は、遊佐中学校から杉沢、月ノ原までの道です。街灯が消えたり、間隔が広すぎる箇所があり、夜遅くに自転車で帰る時などは自転車のライトだけでは暗く感じるときがあります。

最後に、有権者の方々の「福祉の充実した遊佐町にしたい」という意見についてですが、まず「福祉」とは幸い、幸福という意味だそう。みなさんの意見を見ると、「年をとっても安心して住める町にしたい」という意見が多かったのですが、遊佐町は高齢者の方が安心して住めない町なのでしょうか。私はそうは思えません。確かに、若い人達が減ってきているし、酒田などの市に比べたら、医療施設も充実しているとは言えませんが、しかし、私が町で会う高齢者の方は生き生きして幸せそうに見えるのです。これは遊佐が良い町だからではないのでしょうか。私はそう思います。

しかし、一人暮らしの高齢者が増えてきていると聞きました。私は一人暮らしをしたことはありませんが、寂しいことなどは簡単に想像できます。私のおじいちゃん、あばあちゃんは、子供と話す時とても優しい幸せそうな顔になります。きっと一人暮

らしの方も子供と話す事が1つの幸せになると思います。なので町立図書館で読み聞かせなどがあるときなどは小さい子、高齢者の方、また学生や一般の方を集めてふれあいの場を作れば良いと思います。町立図書館なら、中央公民館、町民体育館なども近くあるので行事のときなどはたくさんの方が集まると思います。

みんなが幸福を感じる遊佐町にするために、少しでも多くの町民の意見が実現すればいいと思います。

少年議員

山本 歩



私は、少年議員の山本歩です。

私は、今年の政策予算50万円を、もっとたくさんの方が参加してくれるイベントを企画することや、少年議員を知ってもらう活動することにしたいと思っています。

学校等で企画や少年議員のことについて聞いてみると、「知らない」「イベントに参加しづらい」などの声を聞くことがあります。イベントに人が集まり、楽しんでくれるのは、とてもいいことだし、議員のみなさんも、がんばったかいがあると思います。しかし、来てくれる人がいつも同じだったり、参加しづらいという人がいるようでは、盛り上がりも、本当の意味で成功とは言えないと思います。遊佐町に住む人々が、気軽に、なおかつもう一度来たい、またやってほしい、と感じてもらえるような企画でなければ、進歩のないまま終わってしまうような気がします。

例えば、小学生、中学生、高校生がみんなで楽しめるスポーツ大会やお祭、地域の方々や交流できるツアーメーカーのようなイベントなどはどうでしょうか。

少年議員については、地域のみなさんに、「こんな事をした」「ここをこんなふうに変えた」ということを、みなさんにしっかりと知っていただいたほうが、「何だったな」といわれることも減ると思います。昨年度のように、おたよりを発行したり、遊佐のホームページとは別に、少年議員の情報だけをのせたホームページを作ってみただけでも、違ってくると思います。このような考えから、今年はこの2つの事をやりたいと思います。

次に、遊佐町のみなさんの、「こんな町になってほしい」「こんな事をしてほしい」という意見について、私の担当になった「国際交流」では、大きくわけて「外国や他の町との交流を盛んにしてほしい」「全国的に知られる有名な町にしてほしい」という二つにわけられました。

このような意見がだされるのは、外国や他の町との交流が、小、中、高校の、学校ごとに行われることが多く、地域で行われていても、その事実がみなさんにあまり伝わっていないからだと思います。また、量販店の少ない遊佐町に、不便さを感じている人が少なからずいることも、その理由だと思います。

みなさんの意見のように、遊佐町をすぐに有名な町にすることはできませんが、国際交流などは、私たちの努力次第で、いくらでも現状は変わるので、みなさんの意見に応えることができるとおもいます。

少年議員

高橋 美咲



私は少年議員の高橋美咲です。
私が今年度政策予算50万円を実現したいと思っていることは、イベントの増加と防犯灯の設置です。

私はまだ少年議会の活動が、中学生、高校生に知られていないのが今の状況だと思います。私の友達に少年議会の事を聞いてみると「あまり興味が無い」「何の活動をしているのかわからない」という答えが返ってきました。これが今の少年議会に対する中学生、高校生の現状なのです。

そこで、私達少年議会の活動をもっと中学生、高校生に知ってもらうためには、昨年度よりもイベントを増加していくべきだと思います。みんなが気軽に参加でき、楽しめ、なおかつ町の活性化につながるようなイベントを行えば、少年議会の活動をもっと知ってもらえるし、興味を持ってもらえるかもしれません。そうすれば

結果的に遊佐町を良くしていきたいと思う人が増えることにつながり、来年度の少年議会をもつくりたいのではないかと思います。

有権者の意見にも「イベントを増やしてほしい」「若い人が参加できるイベントがほしい」という意見がありました。その他に私が思うのは、遊佐町の代表的な産業、「農業」を中学生、高校生に知ってもらえるようなイベントです。楽しむため、若い人が参加できるようなイベントが少ないから、という理由でイベントをやれば確かに中学生、高校生は楽しんでくれるでしょう。でも私は、騒ぐだけが「明るい遊佐町」「活気のある町」につながるとは思いません。遊佐町を知り、自分達で町をもっと盛り上げようと思う人が増えれば、おのずと「活気のある町」になっていくのではないかと思います。遊佐町をもっと知ってもらえるようなイベント、例えば「農業体験」「植林」や「お米を使ったお菓子作り」などをやれば農業に関心を持ってくれる人が増えるのではないのでしょうか。

私の2つ目の政策は、前年度も実施した、防犯灯の設置です。通学路を中心として設置していけたらと思います。特に遊佐中周辺の通学路は灯りが少なく、かろうじて家からの光で少し明るいといった具合です。この道を部活帰りの暗い中、通るのはとても危険です。現に、私のクラスメートが「暗くて怖い」といっていました。安全に中学生が通学できるように防犯灯を設置できたらいいなあと思います。

今すぐに実現はできないと思いますが、有権者のみなさんの意見、要望にこたえていけるように精一杯頑張りたいと思います。「明るく、安全な遊佐町」を目指し、実現に向けて活動していきたいです。

【第3期活動報告・最終提言・次期少年議会に望むこと】

平成17年12月27日(火)
第3回少年議会(最終議会)

少年町長

遠田 美由紀



少年町長の遠田美由紀です。

今までの活動を振り返って思うことは、今年は昨年の人数の半分という少ない人数だったのにもかかわらず、例年と変わらない様な活動ができたことが良かったと思います。

また、人数が少なかつたおかげか、議員の人達の意見をたくさん引き出すことができたように思えます。それによって、より町民や有権者のためになる行事や、活動が行えたのではないかと思います。

それと、活動していて感じた事は、私達の活動は多くの人・町民の方々から支えられて成り立っているのだということです。例えば、夏祭りの盆踊り大会の時、少年議会だけでなく、遊佐高校生からも手伝っていただき、とてもにぎやかに踊ることができました。私達が提言した政策を実現するために、たくさんの人から協力や助言をしていただきました。それがとてもうれしく、また、その分私達も遊佐町のために頑張ろうと思いました。

大変な事はたくさんありましたが、鹿の角切りなど、この少年議会という企画に参加しなればできないような、とても貴重な体験をすることができました。この体験で学んだことを忘れずに、私のこれからの生活に役立てていきたいです。

第4期の少年町長、少年議員に伝えたいことは、この少年議会の活動を楽しんでほしいということです。多分、少年議員になって経験する事のほとんどは、初めての事ばかりだと思います。けれど、それを敬遠せずに自分から飛びこんでほしいと思います。新しい体験は、楽な物ばかりとは限りませんが、自分が今まで知らなかった事や物を知るということは、とても楽しく、わくわくするものに違いないと思います。またそれは、必ず自分自身の力となり役立つものだと思います。

それと、話し合いの時には小さな事でも、思った事は積極的に発言してほしいと思います。私達のおとした思いつきや、ちょっとした考えが大きなプロジェクトへとつながっていくのです。それは立候補して選ばれた者の特権であり、遊佐町をよりよい町にする大きなチャンスでもあると思うので、これを無駄にしないでほしいと思います。

大変な事はたくさんあると思いますが、楽しみながら頑張ってください。

少年町長・少年議会解散にあたり、遊佐町に提言したいことは、遊佐町の「あたたかさ」をずっとこのまま残しておいてほしいということです。あたたかさは目にも見えず、形もないものですが、私は16年間遊佐町に住んでいて、そのあたたかさをずっと身近に感じてきました。このあたたかさが無くなったら、いくら便利で有名な町になったとしても遊佐町とは言えないのではないかと思います。目に見えない物をずっと守っていくのは簡単な事ではないかもしれませんが、人と人とのつながり、交流を大切に、ずっとあたたかい遊佐町、進学や就職で遊佐を離れても、また戻ってきたくなる町にしてほしいと思います。

そうなることが、さらなる遊佐町の発展と飛躍につながると思います。

以上で発表を終わります。ありがとうございました。

少年議会副議長

佐藤 里沙

少年議員の佐藤里沙です。

私が第3期少年議会を振り返ってとても印象的だったのは、ベンチの設置です。役場の方、議会のみんなに協力してもらってとてもすばらしいベンチができたと思っています。とくに、議会のみんなでベンチに米～ちゃんを描いたのがすごく楽しかったです。

ですが、一つ心残りなことがあります。それは、役場の前のバス停、一ヶ所にしかベンチを設置できなかった事です。遊佐町では多くのお年寄りがバスを利用しています。そのお年寄りのためにもより多くのバス停にベンチを設置したかったです。

11月13日に遊佐中央公民館で行われた「ユザ タウン パーティー2005 遊佐ロック3rd」では、高校生から社会人の人まで幅



広い方々に出演していただきました。どれも素晴らしいバンドばかりだったのですが、あまり多くの人に聞いてもらうことができませんでした。

今考えてみると、今回の遊佐ロックでは、あまり宣伝ができていなかったと思います。ですから、次に遊佐ロックをやる時は、もっと前から準備をして宣伝もたくさんやったらいいと思います。そうすれば、お客さんもたくさん集まるだろうし、出演してくれる人も今よりもっと増えると思います。

去年から始まった「少年議会だより」は名前も新たに「アワー インフォメーション」と変わりました。以前と違って、ページは少なくなりましたが、今回も一生懸命作る事ができたと思っています。

以前は、遊佐町の中学生と高校生にしか配っていませんでしたが、今年は全世界に配る事ができました。遊佐町の多くの家庭に見てもらえてとてもうれしいです。ですが、漢字を間違えたりした所もあったので見直しはしっかりしなくては駄目だと思います。

次に、少年町長・少年議会解散にあたりユザ町に提言したい事を発表します。

私は、友達と遊ぶ時必ずと言っていいほど酒田まで行きます。なぜかと言うと、遊佐町には若者が遊ぶ場所がないからです。ですから、遊佐町にもっと若者が遊べる場所を作ってほしいです。

例えば、駅の近くに公園などを作ったらいいと思います。電車を待つ間の時間つぶしにもなるし、小さい子の遊ぶ場所にもなると思います。あとは木や花をたくさん植えて遊佐町の自然をアピールできたらもっといいと思います。

最後に第4期少年町長・少年議会へ伝えたい事は、最初に言ったベンチの設置を続けてほしいという事です。役場の前以外のバス停にもベンチを設置して遊佐町をもっとお年寄りに優しい町にしてほしいです。

7月10日の第1回少年議会から、約5ヶ月間、遊佐町の中高生の代表としていろいろな事を体験させていただきました。すべての事がとても楽しく、いい思い出がたくさんできました。第4期少年議会の人にも、後から後悔しないように、進んでいるな事を体験してほしいです。

5ヶ月間という短い期間でしたが、大変お世話になりました。今までどうもありがとうございました。

少年議員

畠中 啓太



少年議員の畠中啓太です。

第3期少年議会の解散にあたり、今まで少年議員として活動してきたことについての感想そして、第4期少年議会へ伝えたい事、遊佐町に提言したいことを考えてきたので発送したいと思います。

まず最初に、今までいろいろな活動をしてきての感想について述べたいと思います。

僕は少年議員として約半年間という短い期間の中で活動してきたわけですが、その中でも印象に残っていることが三つほどあります。それは、自分達少年議会が一人ひとり書いた政策提言を発表するときでした。遊佐町の小野町町長さんなどいろいろな方々やテレビ局の人がいる中での発言だったのでいつも緊張したのを覚えています。

そして、自分が提言した「フリースローラインを引いてほしい」という事が実現したときは、「自分の提言した事がこの遊佐町に残るのか!」と、すごく嬉しくなりました。

二つ目は、ふるさとCM大賞に出品したCMは少年議会が一人から作り上げた作品です。そのためか、CMができあがったときは本当に達成感がありました。結果的に賞は取れなかったものすごく良い経験をしたと思います。

三つ目は、松の枝打ちの活動です。

最初現場を目にしたときはすごくビックリしました。何本もの枝が入り組んでいて全然中に入れる状況ではなかったからです。

でも、約二時間作業を続けているうちだんだんキレイになってきて、作業を終えたころには、まったく別の場所に来たかのようになり、スッキリして見通しがよくなっていました。すごく疲れたけど、とてもやりがいのある作業だなと思いました。

次に来年度、第4期少年議会へ伝えたい事です。

第4期メンバーには次のことを実現してほしいと思います。

それは、ユザロックの入場者数UPです。

なぜこういう事を望むかと言うと、今年のユザロックの入場者数が予想していたよりも少なかったためです。入場者数が少なかった理由としては、宣伝が不十分だったためではないかと思っています。それで来年度は、たくさん宣伝をして、いっぱい人が入るようにしてほしいと思います。

最後に遊佐町に提言したいことです。

この前、町民体育館脇の道路を歩いていて気が付いたのですが、その道路の脇にゲートボールをする所があります。そこにはちゃんと、ゲートボールをする人達のための休む所があるのですが、一つだけ不便そうだと思うことがありました。それは、屋根がついていないと言うことです。屋根が無いことによって、すごく日が照っているときは日陰がなく楽に休めず、途中から雨が降ってきたとしても雨宿りができないので雨に打たれて風邪を引いてしまう心配があるので、できれば屋根を付けてほしいと思います。

今まで支えて来てくださった少年議会の関係者のみなさん、この半年間本当にありがとうございました。

少年議員

山本 歩



私は、少年議会に入り、本当によかったと思っています。

最初は、立候補したものの、私なんかには本当にできるのだろうか、そう思っていました。しかし、実際に話し合いや活動に参加してみると、夜遅くまでの活動や、休日の朝早くからの活動も何度もありました。大変だなと思うことが何度もありました。しかし、それをめんどろだと思ったり、やりたくない、嫌だと感じることはありませんでした。むしろ、活動の一つ一つが本当に楽しくて、やってよかったな、と思う方が多かったです。

議員のつごうで予定が遅れてしまったことや、機関が短く、行うことができなかった活動もあります。しかし、私達の行ってきた活動は、遊佐に住むみなさんのためになったと思っています。

第4期少年議会のみなさんには、私達が長期課題とし、行うことのできなかつた活動に取り組みでいてもらいたいと思います。特に、私は国際交流や、他の町との交流に、力を入れていてもらいたいと思っています。

第3期少年議会を解散するにあたり、私は遊佐町に提言したいことが2つあります。

1つ目はバスについてです。現在、バスは町営となっていますが、休日バスを見かけると、まったく人が乗っていないものがほとんどで、平日のバス利用者を地域の方々に聞いてみても、ほとんどいないそうです。

人がいないバスをただ走らせても、ガソリン代などがむだになるばかりだと思います。だから、利用者を増やすための活動や、最悪の場合、コースをへらすなど、何らかの対策をたてた方がいいと思います。

2つ目は、小、中、高校生の下校の安全についてです。

今の時期、日が暮れるのが早く、みんなが下校する時間は、外はほとんど暗くなっています。町中は人もいりし街灯もありますが、そこはなれると防犯灯なども少なく、ほとんどまっくらです。少年議会でも、防犯灯や街灯などはたてていますが、それだけでは、まだ安全だと言いきることはできません。事故や事件がおこってからではおそいので、少しでも早く、安心して下校できるような環境にしてほしいです。

少年議員になり、活動を通してたくさんの事を学び、貴重な体験をさせていただきました。長いようで短い間でしたが、本当に楽しいことばかりでした。

本当にごころうさまでした。そして、ありがとうございました。

少年助役

池田 加奈



私はこの約半年間、少年議会の活動をしてきて、とても良い経験ができたと思います。まず、この体験をして改めて遊佐町について真剣に考えることができ、本当に感謝しています。私にとっては全てがはじめての体験だったので、全ての活動が楽しかったです。例えば、「鹿の角切り」は、幼い頃見に行った記憶はありますが実際に角を切ったのは初めてでした。鹿の角は思ったよりも硬くて切るのが大変だった事を覚えています。でも、一生に一度できるかできないかわからない貴重な体験だったのでとても心に残りました。次に楽しかったのは「ふるさとCM大賞」に参加したことです。自分達で案を出して、撮影をして、大賞を狙って良い作品ができたと思いました。惜しくも賞は逃してしまいましたが良い思い出づくりになったと思います。自分達で提言したことや、話し合って決定したことがみんなの手で行えたことで、考える力や実行する力、仲間達との団結力など、沢山の力を身につけられたと思います。この力がこれからの自分の人生にとって大きな支えになると思うので大切にしていきたいです。楽しいこともあった反面、正直大変だったこともありましたが、役場を始めとした方々や、他7名の仲間達とだからこそやってこれた活動だったと思います。みなさんに感謝しつつ、この経験を生かし、これからも遊佐町に貢献できれば良いと心から思います。

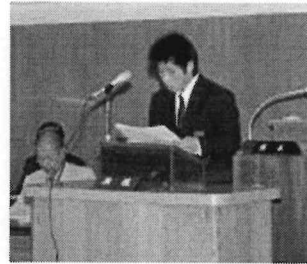
次に、第4期少年町長・少年議員に伝えたいことは、みんなで良く話し合っってより良い遊佐町にしていきたいために、今自分達に何ができるかを考え、実行し、沢山のことを学んでほしいです。もちろん私達も遊佐町のためになるであろうことを考え、実行してきました。しかし、私達だけでは出てこなかった新しい発想もきっと出てくると思います。今しかできないこのチャンス「少年議会」という場を借りてその新しい発想を生かし、どんどん遊佐町をプラスの方向に動かしていきましょう。そうしたらきっと遊佐町に対しての興味も今以上に増し、学校だけでは学ぶことのできない大切なことが学べると思います。実際私が体験してみてそう感じました。第4期のみなさんにもこの素晴らしい体験を味わってもらえたらと思います。これが私の第4期のみなさんに伝えたいことです。

最後に、遊佐町に提言したいことは、若者から高齢者の方までの幅広い年代の方が楽しめるようなイベントや、施設が増えてくれたら今よりも地域の人達同士の交流も深まり、より一層遊佐町は笑顔があふれる町になると思います。そして、今までの伝統を守り、それと同時にさまざまな改革を起こしていきましょう。例えばツーデーマーチなどの遊佐町の最大イベントは、他県の方にアピールする良い機会になっていると思います。内容を変えるのは難しいと思いますが、せめて開会式などにもっと力を入れ、遊佐町の素晴らしさや、元気を他県の人知ってもらいたいと思います。そして、また遊佐町に訪れたいと思ってもらえるような明るく、楽しいイベントを行い、遊佐町に住む一人一人の人から「遊佐町ってやっぱり良いなあ」と思ってもらえるような町づくりをしていってほしいです。以上が私が遊佐町に提言したいことです。

少年議会議長

佐藤 翔大

私が少年議員を行ったのは二年目となり今回は少年議会の議長を務めさせていただきました。私はこの少年議会の活動を振り返って心に残る思い出をたくさん作ることができました。例えば、遊佐町のおばあちゃん達や買い物をおえてバスを待っている地域の人達のために役場のバス停にベンチを設置しました。設置したベンチは少年議会で作り、絵や塗装などを行いました。同時に、第1回少年議会が設置したバスケットコートにフリースローラインをペンキで作成しました。実際フリースローライ



ンやベンチを作ってみて最初に思ったことは、自分達にできるのだろうかということでした。つまり、今回の少年議員が八人と少なく、活動できるのかと思ったことがしばしばありましたが、この作業が半日でできるのだろうかと思う気持ちが大きかったのです。でも今回の少年議会は一人一人のパワーが大きく、人数が少なくても諸活動も、この作業も完成したのでとても驚きました。その他には、奥の細道島海ツーデーマーチのエール、町民盆踊り大会への参加、「Yuza Town Party2005～遊佐ロック3rd～」の開催、松の枝打ちに参加したりなど、数多くの活動に参加しました。ツーデーマーチでは、エールとともに遊佐町のイメージキャラクターである米～ちゃんを宣伝することができて、とてもうれしく思います。私が今回少年議会で頑張ったことは、少年議会だけです。今回は、「Our information～少年議会～」と改名し行ってきました。2回の発行でしたが、昨年と違いページ数が少なくなった分内容が大きくなりました。第1号は少年議会のメンバーの紹介、町民盆踊り大会に参加しての感想、鹿の角切り祭、ベンチやフリースローラインの作成などで構成し発行しました。第2号の内容は、「Yuza Town Party2005～遊佐ロック3rd～」に関してや、松の枝打ち、少年議会をやったの感想などです。作成する時間が少なく、今回は2回しか発行できませんでした。発行数は少ないですが、地域の人達に私達少年議会の活動やメンバーのことを知ってもらえたと思います。ですから今年少年議会だより「Our information～少年議会～」を発行できて、とてもよかったです。第4期少年町長・少年議会へ伝えたいことは今年も行った少年議会だよりを発行してほしいということです。どんなに大きな活動をしていても、地域のより多くの人々に知ってもらいたいには、自分達が「こんな活動をしてるんだ」「今年のメンバーはこういう人なんだ」とわかるようにしたいからです。第4期少年町長・少年議会に伝えたいことはそれだけです。少年町長・少年議会解散にあたり遊佐町に提言したいことは、ただ一つです。それはこの少年議会を無くさず続けてほしいということです。この少年議会は地域の人達や中高生から投票してもらい、その中から選ばれた人達がさまざまな行事等に参加したり、事業などを行っています。私はこの少年議会こそ、大人に向けての第一歩だと思います。大人になれば少年議会には絶対参加することはできません。ですから、中高生にどんどん参加してもらい、お金よりも変えられない物を見つけてほしいです。半年間という短い時間でしたが、少年議会に参加させていただきありがとうございます。

少年議員

小野寺 梓



この一年間の活動で、今までに知らなかった遊佐町を知って、今までに話した事のない人達の意見を聞いて、私の中で価値観が大きく変わりました。視野を広げて、みんなの事をみんなで考える難しさを知ったのもその一つだと感じています。

昨年までの私は、家から学校までが遊佐町だと思っていました。しかし、街灯のない地域を見回ったり、CM撮影など色々な活動をして遊佐町の広さを感じました。初めて見た遊佐町、今も見た事のない遊佐町。すべてあわせて遊佐町なのだということを実感することができました。

また、話し合いでは、一人のための意見や偏った意見にならない意見を考える難しさを感じました。

この一年は、私にとってとても大きな一年で、自分でも大きく成長できたと思います。

ですから、第4期少年町長・少年議員の人たちに伝えたいことは、いろんな事で活動した一年に誇りをもってほしいと思います。今年は昨年に比べて人数が本当に少ない中での活動でした。しかし、自分達の意志で集まった八人が、協力して活動できました。来年も多ければすごく良いとは思いますが、少ない人数だとしても「自分が遊佐町を変えてやる!」という位の気持ちで入ってほしいと思います。

私も活動に参加する前は、自分の一言が遊佐町に届く事も、遊佐町を変える事も絶対には思っていました。しかし違いました。この活動の原点は、町の中学・高校生の意見です。それを知れたのもこの活動のおかげです。

私の遊佐町に提言したい事の一つは、Yuza Town Partyと改名された遊佐ロックを続けてほしいという事です。毎年色々な面で改正される遊佐ロックは、その年の議員の人達を表現しているように思ったからです。

二つめは、遊佐町のCM作りを続けてほしいという事です。いつか毎日のように遊佐町のCMが放送されるようになったらうれしいと思います。来年は、町民のみなさんからアイデアを募集したり、前に話が出たように、遊佐町の歌を作ったりしてCM作品を向上させてほしいです。

そして三つめとして、私が一番心配しているのは合併の話の事です。遊佐町に誇りを持っている人は多いと思います。私もその一人です。ですから、これから先も合併しないで「遊佐町」という名前を残してほしいです。また、この少年町長・少年議員などはとても珍しい活動なので続けてほしいです。このような活動は町の活性化にもつながると思うのでたくさんとりいれてほしいと思っています。

最後に、今まで一緒に活動してきた少年町長・少年議員のみんな、東海林さん、土門さん、本間さん、役場の方々、町民の方々のおかげで一年間活動してきました。ありがとうございました。

少年議員

高橋 美咲



私は少年議員の高橋美咲です。少年議員として活動してきた、この一年を通して、改めて自分の住むこの遊佐町を見つめなおすことができました。私を知っているようで知らなかった遊佐町の良い所。議会で話し合うことによって気づくことのできた改善していくべき所。普段、ただ生活しているだけでは気づくことのできない「遊佐町」を見つめ、本気で考え、行動することのできた、有意義な一年だったと思っています。

これまでの活動の中で一番印象的だったのは、やはり、日本中の方々が参加した、ツアーマーチでのエールです。エールをするために登壇した時は、これほどの人が遊佐町に集まっているのか、ととても驚いたのを覚えています。しかし、私には多く感じられたその人数も年々減少していることを知りました。減少をおさえるために、先輩の議員の方が提案してくださった「ツアーマーチのCMづくり」は、私も大賛成だったのですが、任期とツアーマーチの開催日の関係で実現できませんでした。今期、実現が不可能だったので、是非来期の少年議会の方々に話し合っ対策を考えていただきたいと思っています。

町への提言としては、場所によっては、まだ防犯灯がついておらず、暗い場所があるようです。最近ではニュースなどでも物騒な事件が多く、とても危険だと思います。防犯灯をきちんと設置し、安全でみんなが安心できるような町になってもらいたいと思います。

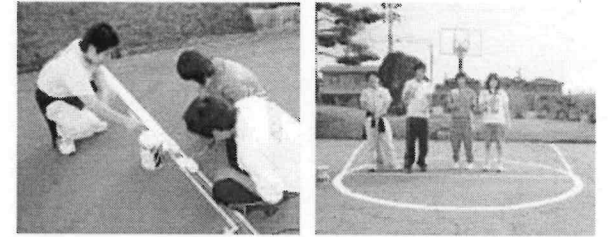
この一年、少年議員として頑張ってきたことで、自分にとってプラスになるものを得ることができたと思うし、遊佐を知り、遊佐を良くしていこうと活動してきたことで遊佐を前より一層好きになることができました。この経験は、ずっと大事にしていきたいし、私達の遊佐町もずっと大切にしていきたいと思っています。最後に、私達の活動をサポートして下さいました役場の方々、優しく見てくれる方々ばかりの少年議員のみなさん、今まで本当にどうもありがとうございました。この経験をこれからの生活にも生かしていけたらいいなあと思います。

第3期少年町長・少年議員の活動

政策予算により実施したもの

バスケットボールフリースローライン整備

第1期少年議会で遊佐町農業者トレーニングセンター前に野外バスケットボールゴールを設置しましたが、「より遊びやすくしてほしい」「ゴール下に車が止められていて、遊べない安全上よくない」という有権者の声から、今年の少年議会では自分達で計画、ペンキでの塗装によりバスケットボールフリースローラインを整備しました。



町内盆踊り大会への参加

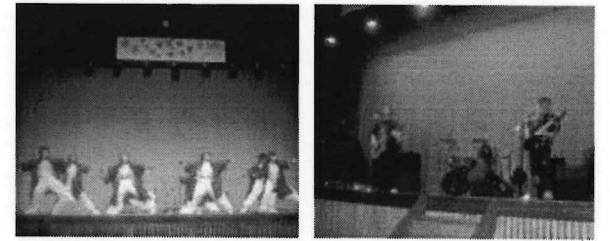
第36回町民盆踊り大会に踊り手、スタッフとして参加しました。今年は、遊佐高等学校よさこいソーランの皆さんと一緒に元気に踊りました。



「Yuza Town Party 2005 ~遊佐ロック3rd~」開催

若者の方で遊佐町を活性化させるため、毎年少年議会在企画・広報・運営を行っている音楽イベントを、「Yuza Town Party 2005 ~遊佐ロック3rd~」として名前もあらたに遊佐町中央公民館ホールにて開催しました。

例年、若者による音楽演奏のみで構成されていましたが、今年は、より世代間交流と音楽以外のジャンルの方との交流を促進させるため、社会人音楽グループや遊佐高等学校よさこいソーランの皆さんからも参加していただき、熱い演奏と踊りを披露しました。



「Our information ~少年議会~」発行

「より自分達の活動を知ってもらい」との思いから、少年議会では11月と12月に月1回、「Our information ~少年議会~」を自分達で作成し、町内全戸配布を行いました。



第3期少年町長・少年議員の活動
政策予算により実施したもの

役場前バス停へのベンチ及び雨よけの設置

「町民みんなに優しい町にしてほしい」という有権者の意見から、お年寄りが座って待つ場所がなかった役場前バス停に、ベンチと雨よけの設置を政策として掲げ、実施しました。

ベンチは自分達の手で塗装、遊佐町イメージキャラクター「米〜ちゃん」をペイントしました。



「ゆうすい」桜植樹

町民みんなが訪れ入所者の方とふれあいながら桜を楽しんでもらうため、特別養護老人ホーム「ゆうすい」にて、ソメイヨシノ4本の植樹を行いました。



齋藤弘山形県知事との懇談会

9月3日(土)、毎年遊佐町で開催されている「奥の細道鳥海ツアーマーチ」会場にて、遊佐町を訪れた齋藤弘山形県知事と懇談会を行いました。山形県の将来について、山形県に若者が望むことについて、意見を交換しました。



YTS「ふるさとCM大賞」出品CMの企画・出演

若者の力でより遊佐町をPRするため、YTS山形テレビにて開催される「山形ふるさとCM大賞」出展CMの企画立案と出演を行いました。

第3期少年町長・少年議員

少年議会の政策提言により、町が実現したもの

衆議院議員選挙啓発活動



第13回鳥海ツアーマーチ
エール



西山地区森林整備
ボランティアへの参加



第28回神鹿角切祭



話題をパワーに。

高校生2人立候補

少年議会議長選挙 来月4日から投票

少年議会議長選挙の立候補者として、遊佐町の高校生2人が立候補した。選挙は来月4日から投票が行われる。立候補したのは、遊佐町立遊佐高等学校の1年生と、遊佐町立遊佐高等学校の2年生。選挙区は遊佐町。投票率は、前回の選挙に比べて高くなることを目指している。選挙結果は、来月10日に開票される。

●庄内日報 2005年6月28日

遊佐町の第3期少年町長選

女子2人の一騎打ち確定

議員は6人無投票並選

遊佐町の第3期少年町長選挙が、遊佐町立遊佐高等学校の女子2人による一騎打ちで決まると見られる。選挙は来月4日から投票が行われる。立候補したのは、遊佐町立遊佐高等学校の1年生と、遊佐町立遊佐高等学校の2年生。選挙区は遊佐町。投票率は、前回の選挙に比べて高くなることを目指している。選挙結果は、来月10日に開票される。

●山形新聞 2005年6月29日

●庄内日報 2005年7月12日

少年町長に遠田さん(遊佐高)

遊佐町の第3期少年町長選挙が、遊佐町立遊佐高等学校の遠田さんが当選した。選挙は来月4日から投票が行われた。遠田さんは、遊佐町立遊佐高等学校の2年生。選挙区は遊佐町。投票率は、前回の選挙に比べて高くなることを目指している。選挙結果は、来月10日に開票された。

少年議会知恵いっほい

遊佐堂々と政策提言

少年議会の議員たちが、町政の改善を提言している。議員たちは、町政の改善を提言するために、町民の声を聞き取り、政策を提言している。議員たちは、町政の改善を提言するために、町民の声を聞き取り、政策を提言している。

●山形新聞 2005年8月21日

●毎日新聞 2005年7月12日

県立遊田西高の

遠田さんが当選

県立遊田西高等学校の遠田さんが、遊佐町の第3期少年町長選挙で当選した。選挙は来月4日から投票が行われた。遠田さんは、遊佐町立遊佐高等学校の2年生。選挙区は遊佐町。投票率は、前回の選挙に比べて高くなることを目指している。選挙結果は、来月10日に開票された。

●山形新聞夕刊 2005年10月11日

観光振興願い

少女の角切り

遊佐町の観光振興を願い、少女の角切りが行われた。角切りは、遊佐町の観光振興を願い、少女の角切りが行われた。角切りは、遊佐町の観光振興を願い、少女の角切りが行われた。

遊佐町少年町長

若者集うイベントを

遊佐町少年町長選挙の準備として、若者集うイベントが行われた。イベントは、遊佐町立遊佐高等学校の若者たちによる。イベントは、遊佐町立遊佐高等学校の若者たちによる。

●朝日新聞 2005年7月12日

少年町長に当選証書

遊佐町立遊佐高の遠田さん

遊佐町の第3期少年町長選挙で当選した遠田さんに、当選証書が授けられた。授けられたのは、遊佐町立遊佐高等学校の校長。授けられたのは、遊佐町立遊佐高等学校の校長。

●読売新聞 2005年7月12日

この人

遊佐町立遊佐高の遠田さん

遊佐町の第3期少年町長選挙で当選した遠田さんの紹介記事。遠田さんは、遊佐町立遊佐高等学校の2年生。選挙区は遊佐町。投票率は、前回の選挙に比べて高くなることを目指している。選挙結果は、来月10日に開票された。

●山形新聞夕刊 2005年7月11日

●庄内日報 2005年8月23日

「バス停にベンチを」

少年議会議長が政策提言

少年議会議長選挙で当選した遠田さんが、町政の改善を提言している。遠田さんは、遊佐町立遊佐高等学校の2年生。選挙区は遊佐町。投票率は、前回の選挙に比べて高くなることを目指している。選挙結果は、来月10日に開票された。

新聞記事等
話題をパワーに。

●庄内日報 2005年10月12日



目当ては「御利益」
公選議会の2週の内取り際

●山形新聞 2005年11月17日



バンドや踊り熱く
遊佐町の少年議会の活動

●山形新聞 2005年10月25日

●山形新聞 2006年1月12日



●庄内日報 2005年12月29日

最終政策提言を発表
遊佐町の少年議会が今期解散

遊佐町の少年議会が、12月29日、遊佐町公民館で最終政策提言を発表し、今期を以て解散した。少年議会のメンバーは、この日、町長と町民の皆さんと話し合い、今後のまちづくりについて意見を述べた。少年議会のメンバーは、この日、町長と町民の皆さんと話し合い、今後のまちづくりについて意見を述べた。

バス停にベンチ、バスケライン引き
少年議会の政策即実行

住みよい街へ「第一歩」

遊佐

遊佐町の少年議会は、10月12日、遊佐町公民館で最終政策提言を発表し、今期を以て解散した。少年議会のメンバーは、この日、町長と町民の皆さんと話し合い、今後のまちづくりについて意見を述べた。

●山形新聞 2005年10月25日

遊佐町の少年議会は、10月25日、遊佐町公民館で最終政策提言を発表し、今期を以て解散した。少年議会のメンバーは、この日、町長と町民の皆さんと話し合い、今後のまちづくりについて意見を述べた。

古里、見詰め直せた
第3期遊佐町少年議会の解散

遊佐町の少年議会は、12月29日、遊佐町公民館で最終政策提言を発表し、今期を以て解散した。少年議会のメンバーは、この日、町長と町民の皆さんと話し合い、今後のまちづくりについて意見を述べた。

平成17年度遊佐町少年町長・少年議員公選事業プロジェクト名簿

所属	職名	氏名
1 教育振興課	教育次長兼課長	佐藤 幸一
2 教育振興課	総務学事係長	菅原 清和
3 教育振興課	補佐兼生涯学習係長	東海林 茂勝
4 教育振興課	派遣社会教育主事	浅沼 敏行
5 議会事務局	局長	堀田 堅志
6 議会事務局	次長兼議事係長	金野 周悦
7 総務企画課	課長	齋藤 三郎
8 総務企画課	総務係主任	中川 三彦 (選挙管理委員会書記)
9 総務企画課	補佐兼企画係長	東海林 和夫 (事務局)
10 総務企画課	企画係主任	土門 良則 (事務局)
11 総務企画課	企画係主事	本間 裕行 (事務局)

※遊佐町少年町長・少年議員公選事業の実施のため、遊佐町役場内にそのサポートのためのプロジェクトチームを立ち上げている。プロジェクトチームは、実際の事業を執行する際、直接若者たちの支援を行う。
○担当課 教育委員会教育振興課・議会事務局・選挙管理委員会・総務企画課

おわりにかえて

平成17年度少年町長・少年議員公選事業にご支援・ご協力いただいたすべての皆様からお礼申し上げます。

今年は3期目で、町民・有権者の皆さんから認知度もあり、定着した事業として展開できると思い込んでいました。例えば、立候補者は定員を超える届出があり、告示から選挙・開票等の事務は淡々と行われるのだろう、また、事業を展開していくときの会議(全員協議会と称しています。)も、比較的スムーズに進行していくのではないかと希望的観測に立っていました。

しかし、予想が外れることは世の常で、理由はともあれ、議員の立候補者がなかなか揃わず期限が近づき、再度学校関係者に尽力をお願いしたところですが、定員内の6名に留まりました。

有権者の皆さんが忙しい学校生活を送っている、あるいは、卒業・入学と一定の割合で対象者が毎年変わるということはあるにしても、このことは、学校で有権者に説明会を引続き開催しているとはいえ、魅力ある事業としての受け止め方までには至っていないのか、定着までは、もう少し時間が必要なのかと自問自答しているところです。

さて、今期のスタートは、開票により役柄が確定した7月10日から、盆踊りまでは1ヶ月余という短い時期からとなりました。したがって、従前どおりの活動をするには少々ハードな日程になったと思います。

しかし、町長・助役・議員6名という人数も幸いしてか、まとまりよく進めていくことが出来たのではないかと思います。

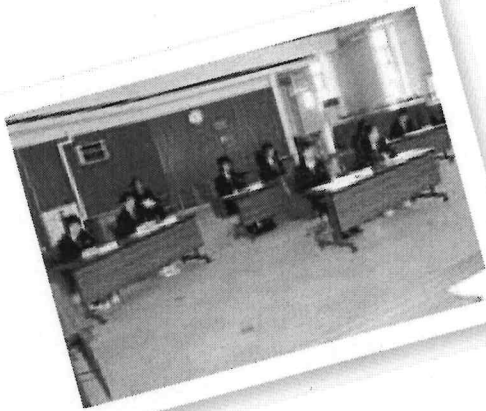
勿論、顔合わせから始まるのですから、最初はごちなく会議の集中度も低かったのですが、町内一円の視察研修や有権者の意見の取りまとめ作業、政策提言等の活動を通してまとまりが良くなっていきました。

私も事務局は、教育関係者ではありませんが、町の明日を担う若者が成長していく姿に触れられることは、驚きや感動に出会うことでもあり、感謝の念に堪えません。特に第2回議会で政策提言以降の諸活動は、町のイベントにも積極的に関わり、手作りのフリースローライン引きや待合のベンチ製作等、目を見張るものがありました。

若者の事件や心の問題が報道されないことはない今日ですが、少々気長に付き合ひ、自分の考えを引き出す時間と努力を惜しまなければ、彼らは、遊佐町についての熱い思いを語ってくれるし、住みよい遊佐町にしていくための方策(小さなことでも出来ることを含めて)も共に考えてくれるダイヤモンドの原石だということを、改めて確認させられました。更に、ハンガリー派遣事業に参加する仲間もそうですが、この事業における彼らもまた、公式の場での所作を丁寧に教えると、専ら私どもが見習わなければならないほどの立居振舞いであったことを付記しておきます。

最後に、本事業を担っていただいた個人的で目いっぱい8人の若者たちの、末広がりの未来をご期待申し上げます。

平成18年3月
山形県遊佐町総務企画課企画係 東海林 和夫、土門 良則、本間 裕行



明日の遊佐町に
ぼくたちは
わたしたちは

提案します。

